



難民について伝える スキルアップセミナー

2020年秋
オンライン

主催：国連UNHCR協会 協力：UNHCR駐日事務所 後援：JICA地球ひろば

日程

- ① 10/18(日) 15:00～18:15
『いのちの持ち物けんさ』／UNHCRの難民支援
- ② 11/8(日) 15:00～18:15
『あるものないものワークショップ』／Youth×UNHCR for Refugees
- ③ 11/29(日) 15:00～18:15
『サトちゃんの大切なもの』／特別ゲスト(後日発表)講演

※Web会議サービス「Zoom」を使用 ※①～③全ての参加大歓迎(どれか1つか2つの参加も可能)

目的

難民問題や国際協力に関心をお持ちの若い世代の方々、教育現場で教材として活用したいと考えられている教職員の方々、そして関心はあるけれども、なかなか学ぶ良い機会がないと思われている皆様方を対象としたオンラインセミナーです。

難民問題やUNHCRについての基礎知識に加え、当協会が開発したワークショップ『いのちの持ち物けんさ』と『あるものないものワークショップ』、そして『サトちゃんの大切なもの』の実践と解説により、難民問題を自分事として考えるきっかけを創ります。

教育現場においては、総合的な学習及び探求の時間や社会科をはじめとした各教科の教科指導、人権教育、キャリア教育における活用、グローバル人材の育成やアクティブラーニングへの応用が可能です。

学生団体SOARや協力者の方々と共に体験することにより、一人ひとりがそれぞれの立場から自分にできることを考えるチャンスになります。



お申し込み方法

参加費無料 / 先着順の事前申込制(定員：各回50名)

国連UNHCR協会ウェブサイトにて設ける「難民について伝えるスキルアップセミナー(2020秋オンライン)」専用サイト

<https://www.japanforunhcr.org/archives/17136>

で詳細をご確認のうえ、お申し込みください。

各実施日3日前の正午締切(事前に資料を送付いたします)。



お問い合わせ先

国連UNHCR協会 広報啓発事業担当 school@japanforunhcr.org (天沼)

〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3階

TEL: 070-3869-1763 FAX: 03-3499-2273 www.japanforunhcr.org



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

■特定非営利活動法人国連UNHCR協会とは

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約135カ国で援助活動を行っています。この国連の難民援助活動を支えるため、広報・募金活動を行う日本国内における公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。

■学生団体SOAR (Students' Organization Assembled for Refugees)とは

国連UNHCR協会のインターンシップを経験した学生を中心に設立された学生団体です。教育機関や団体に対し、難民問題に関する出張授業を実施しています。

■Youth×UNHCR for Refugeesとは

日本の若者の力で難民支援の輪をさらに広げるために、学生団体やユースが連帯して形成されたプラットフォームです。

『いのちの持ち物けんさ』 とは

【喪失の疑似体験】を通じて生まれる【自分への気づき】を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、難民について知ってもらうことを目的としたワークショップ。付箋とワークシートを使用したグループワークで、小学校高学年・中高生以上推奨。

『あるものないもの ワークショップ』とは

難民の人々の現状に関する写真から【難民にないもの】
【難民にはあって私たちにないもの】
【難民にも私たちにもあるもの】
について考え、自分たちや日本の社会が、現在そして未来においてできることを導き出していくワークショップ。
小学校高学年から中学生推奨。

『サトちゃんの大切なもの』 とは

アニメ「難民「サト」のものがたり」の登場人物の動きや表情から、当たり前のように感じている日常が戦争によって奪われていることを知り、自分たちにできることを塗り絵などのツールをとおして考えていくワークショップ。
幼稚園年長から小学校中学年推奨。